**報告書**

**「シネマ・デイジーの質の向上に係るモニター版の検証結果について」**

２０１８年９月１０日

全視情協録音委員会

シネマ・デイジープロジェクト

シネマ・デイジー検討プロジェクトでは、シネマ・デイジーの更なる質の向上を図るために、現行の解説台本の製作マニュアルや編集マニュアル等について、十分な意見聴取と検証が必要なことから、以下のとおり実施しました。

　１　検証期間

　　　平成２７年１１月４日から平成３０年３月３１日まで

　２　重複コンテンツ登録

　　　同タイトル２作品まで

　　　検証期間終了後は、先行して登録された１タイトルを残し、あとに登録された方を除籍いたします。

　３　検証内容

　　　解説量、解説台本の違い、ナレーターの違い等について、意見を収集し、検証を行い、音声解説の製作やマニュアルの見直しを行います。

　４　ご意見・ご感想の送付先

　　　全視情協サピエ事務局へメールでお送りください。

E-mail　　sapie-jimu@naiiv.net

【シネマ・デイジー（音声解説）に関するご意見・ご感想について（お願い）

平成２７年１１月４日付】

1. 検証方法

検証期間：平成２７年１１月４日から平成３０年３月３１日まで

対 象 者：点字図書館を利用している視覚障害者

収集方法：事務局へのメールの返答

検証項目：①同映画の重複製作：7タイトル

②音声解説の簡易版：2タイトル

　（「いつ」「どこで」「だれが」の３点を基本にした音声解説）

③主音声・音声解説の出力を変える製作方法：3タイトル

検証方法：（１）検証内容に則したシネマ・デイジーの製作

（２）サピエ図書館へのコンテンツ登録

（３）意見や感想の収集

（４）プロジェクト内での聞き比べ

検証内容

　①解説内容の相違点

　視聴者の意見や感想を踏まえ、検討プロジェクトで同作品を聞き比べ、台本を確認し、検証した。

②製作時間・製作工程と満足度の比較

完成時期と製作工程を確認した。

満足度については、視聴者の意見や感想を基にプロジェクトで検討した。

③通常版とLR版の聞き比べ

　両側から主音声と音声解説がミックスされて聞こえる通常の製作とは異なり、音声解説の聞きやすさを重視し「左」から映画の主音声が、「右」から音声解説が分かれて聞こえるように製作し検証した。

２．当事者からご意見・ご感想（メール数：３１通）

①同映画の重複製作

ダウンロード数は2018年7月現在の数字

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 映画のタイトル | 製作館名 | 完成日 | ダウンロード数 | 製作館名 | 完成日 | ダウンロード数 |
| 英国王のスピーチ | 日点 | 2016/8/1 | 365 | 名古屋 | 2015/11/30 | 931 |
| 駆込み女と駆出し男 | 日ラ | 2017/9/12 | 915 | 川崎 | 2017/5/31 | 274 |
| ゴーストニューヨークの幻 | 日ラ | 2016/3/16 | 884 | 川崎 | 2016/3/31 | 592 |
| 最高の人生の見つけ方 | 日ラ | 2014/3/14 | 1,541 | 神戸 | 2014/4/11 | 394 |
| タイタニック | 日点 | 2015/8/1 | 1,016 | 日ラ | 2017/2/16 | 1,770 |
| チョコレートドーナツ | 日ラ | 2016/10/18 | 678 | 京ラ | 2017/5/12 | 337 |
| のぼうの城 | 日ラ | 2014/6/1 | 1,827 | 京ラ | 2017/9/11 | 651 |

・音声解説は、製作者それぞれに違いがあり、どれが良いとか悪いとか、言い切れないものがある。異なる音声解説によって受け手のイメージに違いがある。

・もう少し、キャラクターの姿を説明していただければ、もっとリアルに映像が想像できるのではないかと思われます

・解説量については特に不満はありませんが、先天的に全盲の方がこれで楽しめるのかなという疑問はあります。ですが、あまり解説を入れ過ぎても聴きづらいだけだと思うので、増やしたり減らしたりする必要はないのではと感じます。

・ナレーターによっても映画のイメージに違いがある。

・外国映画は、吹き替え版だけでなく、字幕を音声化（音声解説による吹替え）した原語版も製作していただけるとより映画を楽しむことができるのではないか。

②音声解説の簡易版

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 映画のタイトル | 製作館名 | 製作形式 | 製作形式 |
| 完成日 | ダウンロード数 | 完成日 | ダウンロード数 |
| ズートピア | 京ラ | 通常版 | 簡易版 |
| 2016/10/26 | 918 | 2016/9/26 | 779 |
| 起終点駅ターミナル | 京ラ | 通常版 | 簡易版 |
| 2016/6/29 | 1,301 | 2016/6/15 | 909 |

・「起終点駅ターミナル」のモニター版を聴いてみました。僕は説明の簡単なのが好きなので、モニター版でも満足できますが、聴き比べてみると、やはり通常版のほうが内容をよく理解できて、簡易版では物足りなく感じました。

・僕の好みは、「双方の中間」が良いです。特に表情の説明などは主観が混じるので、聴手の想像に委ねるべきだと日頃から思っています。その点、シネマ・デイジーは説明過多だと思います。

③主音声・音声解説の出力を分ける

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 映画のタイトル | 製作館名 | 製作形式 | 製作形式 |
| 完成日 | ダウンロード数 | 完成日 | ダウンロード数 |
| アナと雪の女王 | 京ラ | 通常版 | LR音声版 |
| 2014/9/16 | 8,395 | 2016/5/17 | 766 |
| 英国王のスピーチ | 日点 | 通常版 | LR音声版\* |
| 2016/8/1 | 365 | 2016/8/10 | 231 |
| マエストロ！ | 日ラ | 通常版 | LR音声版 |
| 2016/3/16 | 1,133 | 2016/3/16 | 687 |

\*『英国王のスピーチ』のLR音声版は原語版

・最近「アナと雪の女王」と「マエストロ！」の２本を従来のものとモニター版ともに楽しみました。アイフォンでの片耳での聴取では、あまり違いが判りません。ところが、ステレオスピーカにつないで聞くと、モニター版の音の寂しさに気が付きます。特に、「マエストロ！」のオーケストラはベルリン・フィルでしたので、モニター版ではかわいそうな気がしました。例えば、村上のヴァイオリンを全体練習で直す場面など、周囲の団員の不足声の聞こえてくる方向が従来版では、右やら左やら変化してくるのですが、モニター版では片方だけからの不足声でした。あまねがコンサートマスターと、桟橋で話している場面でも、ステレオだと、左側に波が寄せる音がのせてあります。ステレオ音響の効果で、画面がなくてもどちら側が桟橋の海側かが判るように作られているようです。「アナと雪の女王」も音楽の素敵な映画ですが、片方にモノラルな音楽、他方に説明と別れているのはあまりにも寂しい気持ちです。

・今回は音楽（サウンド）が主体の映画だったから、オリジナル版の方が迫力を感じられて良かったかな、とのことでした。

・ステレオで聞く方が良い。

・左右のスピーカーに分かれて聞こえてくるので、解説が聞き取りやすい。

【その他】

ナレーションについて

・「朗読者は、あまり感情は入れず、聞き手の想像力を促す読み方が基本」と朗読を担う人に教えて頂きました。その考え方は理解できますが、とは言っても文面上で明らかに悲しい場面、真剣勝負で息詰る場面など、その場面に対応した読み方をして頂いたほうが、ストーリー全体が引き締まり、印象深くなると思います。

・ナレーターについては製作者それぞれに違いがあり、どれが良いとか悪いとか、言い切れないものがありますが、個人的には男性のナレーターは馴染みにくいです。かと言って、女性ならそれで良い、と思うわけでもないですが、シネマに限らず音声訳は感情を入れないというのが基本だとは聞いていますが、音声があまりにも平坦すぎて暗く聴こえることがあるので、低音で平坦な音声はあまり聴きたくないです。

日本語版と字幕を音声化版

・日本語版と、声はそのままで、字幕を音声化した版の２種類を作っていただければ、より映画を楽しむことができるのではないかと思います。

・セリフの部分は吹き替えにしていただいて、歌．音楽は原画からそのまま流すようにしてほしいものです。私は、ミュージカルは原画の音声を使用してほしいと思っています。むずかしいことなのでしょうか。セリフと音楽が重なる時もあるのですものね。そのような吹き替え版もありますよね。「アナ雪」と「サウンド・オブ・ミュージック」は、「アナ雪」は、日本語版は、はじめからすべて音楽を含めて日本の声優さんのキャストで作成していますものね。私は原版の音声が聞きたいものだと思います。

３．検証結果

①同映画の重複製作

製作者が異なる同作品の重複製作は、どちらが適正であるとか、どちらが良い・悪いという考え方ではなく、あくまでも音声解説の性質上、説明する視点や優先順位、言葉の作り方が製作者によって異なり、音声解説（説明）の内容に多少の違いがあること、その違いによって聴かれる方のイメージに違いが生まれてくることを確認しました。加えてシネマ・デイジーは、映画のサウンドを使用しているため、常に映画の主音声と解説のナレーションを同時に聴くことになり、ナレーターによってもイメージに違いや好みがあることがわかりました。

②音声解説の簡易版

　通常の音声解説は、『いつ、どこで、だれが、なにを、どのように』を基本に説明していますが、簡易版では『いつ、どこで、だれが』の3点を基本に製作し検証しました。

　簡易版の、これら３点であれば、容易に製作が可能ではと考えましたが、製作過程において３点以外の説明が必要な箇所が出てきたり、製作者によってもその判断に差が出てしまったりと基準を指し示すことが難しいことがわかりました。

早期製作を念頭にしていましたが、製作期間は通常版も簡易版もそれほど変わるものではありませんでした。

当事者からの意見にも、聞き比べると簡易版の方が説明の物足りなさを感じるとのご意見も目立ちました。

③主音声・音声解説の出力を変えた製作物

音声解説が聞きにくい（聞き取りにくい）箇所があるとのご意見から、主音声と音声解説の出力を分けたものを製作しました。しかし、映画本来の迫力ある・厚みのある音を感じることができなかったという意見がほとんどでした。

４．結論

検証項目①では、利用者や関係者からの評価も高く、その有効性が確認でき、重複製作の必要性を感じましたので、今後も検討プロジェクトの課題としてさらに検討を進めていきたいと思います。しかし、今回の検証ではマニュアルの見直しまでの必要性はなかったため見直しは行っておりません。また② ③の形式では当事者からの評価が低かったため、新たな製作は行いません。

今後も質の良いシネマ・デイジーを提供するために、現在のマニュアルを基に音声解説やナレーションに関する情報共有・研修等を行っていきたいと思います。

また、吹き替え版と原語版（字幕版）の製作の希望もあったので今後検討したいです。

以上